

# かいほつ 74号

題字 矢作北小  
6年 桑本 浩幸

岡崎市現職研修委員会  
特別支援教育部会  
平成28年2月10日発行



▲「ぴかぴかにするよ」－毎週金曜日のくつ洗い－（六名小）



いの子に 何を ぶいまで

矢作北中学校長

酒井 洋一

ある小学校の特別支援学級の授業研究会に参加した時のこと。事後の協議で、「特別支援の子たちが将来自立して生きていくためには、どれくらいの基礎的な学力（読み書きそろばん）が必要か」ということが話題になりました。私は心の中で、「それは一人一人の特性、能力によって違うので、指導者がその子を見て時々で判断していくことだ」と思っただけでした。すると、授業者であったその若い先生は、「他の子のことはわからないが、今日の対象児の二年自閉症のこの子は、今やっと単語を発するようになったレベルであり、なかなかスラスラとは頭に入っていないが、がんばって卒業する時までには、小学校二年までの国語と算数の内容を身につけさせたい。そうすれば、将来きっと一人で生活していけると思う。」と力強く言われました。とても一生懸命な先生でした。自立に向けてあと四年間でつけていくべき学力を見通し、責任強く指導していこうとする情熱を感じて、ハッとしました。

昨夏、二十数年ぶりに春日台職業訓練校を見学しました。驚いたことに、機械科、縫製科、木工科、陶磁器科、紙器製造科の五つのコースの全てが、二十年前と全く変わらない作業をしていました。「針と糸での手縫い」「ろくろを手で回しながらの粘土成型」「のこぎりで角材を切つての工作」等々、実際の事業現場ではどれも機械が行っているものばかりです。担当の方によると、「内容よりも集中力や持続力、礼儀などが大切である」とのことでした。作業室の壁には「返事・挨拶、身だしなみ、集団への参加、言葉づかい、伝達、所持品整理、洗濯・掃除」と大きく書かれた表示板が掲げられていました。

いつも「この子に 何を ぶいまで」と思っている自分にとって、二つのこととも参考になりました。

# 子どもと親の集い ブロック交流会

とてもたのしかった交流会  
矢作北ブロック

北野小 三年 夏目 詩音

十一月十九日木曜日に、やはぎ北中学校へブロック交流会にいきました。お母さんがきてはるかしたかったです。交流会が一番がんばったのは、ゲームのしかいです。ぼくたちがかんがえたしかいを、大きな声でがんばりました。しかいがせいこうしてうれしかったです。学校でしかいのれんしゅうをしたからです。れんしゅうすれば、にがてなものもできるようになりました。これからはれんしゅうをたいせつにします。



▲自分たちでゲームの司会の原稿を作ったよ



▲ミニ運動会でじゃんけん列車

楽しかった交流会  
竜海ブロック

三島小 四年 鈴木 誠人

十一月四日に、ブロック交流会がありました。六名小まで、歩いていきました。午前中は、体育館でミニ運動会がありました。中学生や他の学校の子とチームになって、ゲームをしました。三島小を卒業して中学校にいった友達も同じチームでした。

まず、フラフープで輪くぐりをしました。うまくぬけなくてむずかしかったです。あとは、パズル組み立て競争やボール渡しゲームなどをやりました。みんなで力を合わせてがんばりました。午後は、運動場でカモフラージュゲームや、目かくしトレールをやりました。みんなと仲良くできて楽しい一日でした。

うまくできたハンドベル  
南・翔南・福岡ブロック  
福岡中 三年 竹山 鷹昂

本番をむかえたブロック交流会。ぐうぜんにも、南中学校の「夢うけついで」の後は、ぼくたちの「夢ふくらませ」でした。失敗しないように最後までがんばろうという気持ちでやりました。

はじめて練習した時は、のぼす音に苦戦して、五人のれんけいはバラバラでした。ビデオにとつてみんなで見てもうまくできた所やできなかった所をチェックしてなおすことをしました。すると、だんだんうまくなりました。

本番では少しミスがありました。最後までやりとおせました。ほかの学校の出し物では、羽根小学校のじゃんけん大会が印しようにのこっています。一回戦でまけてしまいましたが、楽しかったです。



▲ハンドベル演奏「夢ふくらませ」

## 各ブロック交流会の内容

○北・岩津ブロック 葵武将隊、落し葉スキー、学校ごとの出店	○新香山・常盤ブロック ながよしオリンピック、満山寺オリエンテーリング	○葵・城北ブロック レクリエーション、学校ごとの出店、読み聞かせ	○甲山ブロック ふれあいゲーム「夢おどる」踊り	○美川ブロック フィールドアスレチック、地元の名産を使った豚汁作り	○東海・額田ブロック 地域自慢を入れた学校紹介、八丁味噌料理	○南・翔南・福岡ブロック 学校ごとの出し物、ジャズダンス	○竜海ブロック 簡単工作、ふれあいゲーム(岡崎の心)	○竜南ブロック カレーライス作り、学校ごとの出店、クイズ	○六ツ美・六ツ美北ブロック 各校遊びコーナーの出店、ふれあいゲーム	○矢作ブロック 学校ごとの出店、流しそうめん、ふれあいゲーム	○矢作北ブロック 簡単工作、ふれあいゲーム
----------------------------------	--	-------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------

十二のブロックで、子どもと親の集い交流会が行われました。多数の参加があり、各ブロックともに活気に満ちあふれた会になりました。

子どもたちは、交流会を通して、普段、話をする事のない他校の友達と一緒に仲良く活動することができました。また、岡崎の名産を使った料理、踊りやクイズなどを通して、岡崎のことをより詳しく知ったことと思います。保護者にとつても、普段の悩みを相談できたり、情報を共有できたりして、よい機会になったと思います。

# これからの特別支援教育

特別支援教育が始まって十年目に入ります。特別支援教育を取り巻く環境は変化し続けています。平成二十四年ごろから「インクルーシブ教育システムの構築」「共生社会」というキーワードが出てくるようになり、全員参加型の社会を形成していくための教育が求められるようになりました。先生方は、子どもの自立や社会参加に必要な力を培うという視点に立ち、教育的ニーズに応じた指導を行ってきたことと思います。通常の学級においても、子どもたちの教育的ニーズに応えた多様な学びの場が工夫されていくなど、特別支援教育が特別なものではなくなっ

てきています。平成二十八年度からは、「障害者差別解消法」が施行されます。この法律は、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現につながることを目的としています。この法律は、

## ① 不当な差別的扱い ② 合理的配慮の不提供

この二つが禁止されていることがポイントになっています。これらのことは学校現場にも大きく関わってくる必要があります。「文部科学省所管事業分野

における障害を理由とする差別的解消の推進に関する対応指針(案)」には、不当な差別的扱いに当たり得る具体例と、合理的配慮に当たり得る配慮の具体例が挙げられています。

### ○不当な差別的取扱いに当たり得る具体例

- ・ 学校への入学の出願の受理、受験、入学、授業等の受講や研究指導、実習等校外教育活動、入寮、式典参加を拒むことや、これらを拒まない代わりとして正当な理由のない条件を出すこと。
- ・ 試験等において合理的配慮の提供を受けたことを理由に、当該試験等の結果を学習評価の対象から除外したり、評価において差をつけたりすること。
- 合理的配慮に当たり得る配慮の具体例
  - ・ 知的発達の遅れにより学習内容の習得が困難な児童生徒等に対し、理解の程度に応じて視覚的にわかりやすい教材を用意すること。
  - ・ 発達障害等のため、人前での発表が困難な児童生徒等に対し、代替措置としてレポートを課したり、発表を録画したりしたもので学習評価すること。
  - ・ 読み・書き等に困難のある児童生徒等のために、授業や試験でのタブレット端末等のICT機器使用を許可したり、筆記に代えて口頭試問による学習評価を行ったりすること。(抜粋)

# 障害者差別解消法 二十八年度四月施行



この法律を知らなかったでは済まされません。しかし、法律ができたから、差別をなくしたり合理的配慮を提供したりするものではありません。特別支援教育の基本である、目の前の子どもを見つめ、一人一人の教育的ニーズに応じていくことが、新しい法律で目指している共生社会の実現に向かっていくのではないのでしょうか。

今後も様々な新しい取り組みが出てくると予想されます。その度に、新たな取り組みをしていくのではなく、これまで培ってきたものに積み重ねていくことが大切ではないかと考えます。(文責 岡崎小 川原場 仁子)

〈参考・引用文献〉  
『文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別的解消の推進に関する対応指針(案)』  
『内閣府発行。パンフレット「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律障害者差別解消法が制定されました」』

〈特別支援教育研究 NO.700〉  
(東洋館出版社)

## 岡崎ライオンズクラブ招待

### 社会見学会絵画作品展

毎年、岡崎ライオンズクラブの招待で社会見学会が行われています。(今年度で、五十一回目になります)この社会見学会にかかわる絵画作品展と優秀作品の表彰式が行われました。

十二月二十日、岡崎ニューグランドホテルにて表彰式が行われました。優秀賞に輝いた九十三名の代表として四名の児童が表彰式に参加し、賞状と賞品を受け取りました。

年が明けた一月八日から十日まで、岡崎信用金庫資料館にて作品展が行われました。三日間の開催で、八六二名の来館者がいました。校外学習の一環として学級みんなでバスや電車を利用して、作品展に訪れた学校もありました。



▲社会見学の楽しさが表現されていました

# 卒業を前に親子の思い



## ぼくの挑戦

城南小 六年 江良 祥摩

ぼくは六年生になって、自分の苦手なことにも挑戦していこうと思えました。とくにがんばったことは、人前での発表です。社会の授業でいっぱい発言したり、城南シティカーニバルでは、担当コーナーを大きな声で説明したりしました。みんなの前で積極的に話せるようになってうれしです。

中学校でも、進んで自分の意見を発表し、苦手なことにも挑戦していきたいです。

## 子どもってすごい

城南小 保護者 江良 和美

小さい頃は消極的でおとなしく、心配することもありました。しかし、高学年になると、「大きな声で発表できたよ」とうれしそうに話してくるようになり、先生からも積極的な姿勢をほめていただくようになりました。子どもが楽しく学校に通っていることや日々成長していることを感じ、とてもうれしかったです。

中学生になっても、苦手なことにも自分のペースで前向きに頑張っしてほしいです。

## 学級代表になって

東海中 三年 山本 新太

僕は中学三年生になって、学級代表をやらせてもらいました。初めは不安もあり、クラスの子への呼びかけができなかったけれど、だんだん自分から進んで呼びかけができるようになりました。みんなをまとめることは難しいけれど、とてもやりがいがありました。文化祭でのハンドベル演奏やロック交流会など、クラスのみんなと力を合わせていろいろなことができたので、中学校生活のとてもよい思い出になりました。

## 頑張った三年間

東海中 保護者 山本 恵

中学校生活の三年間、自分でできることを増やすという目標を立て、彼なりに努力し、頑張ってきました。苦手なことも多く、時に涙してしまいうこともありました。諦めず何度もチャレンジし、その積み重ねからやればできることを学んだ三年間だったと思います。この春からは新しいステージでの日々が始まりますが、自分なりの目標を立て、成長してくれることを楽しみにして、温かく見守っていききたいと思っています。



特別支援学校以外の進路を選択する生徒が年々増加しています。多様な進路選択に対応できるように、指導・支援のさらなる充実が求められています。

進路希望先	男	女	計
愛知教育大学 附属特別支援学校	1	1	2
みあい特別支援学校	15	15	30
豊川特別支援学校本宮校舎	1	1	2
豊田高等特別支援学校	6	2	8
半田特別支援学校桃花校舎	3	2	5
岡崎特別支援学校	1	0	1
高校(定時制)	4	0	4
高校(全日制)	0	0	0
専修学校	4	3	7
通信制・サポート校	0	3	3
春日台職業訓練校	0	0	0
就職・その他	0	1	1
合計	35	28	63

(二月二十九日現在)

# 今年度の表彰

- 愛知県緑化作品ポスター原画コンクール小学生の部  
愛知県緑化推進委員会 理事長賞  
恵田小 南 裕太
- 岡崎市小中学校読書感想画コンクール  
岡崎市教育委員会賞  
恵田小 南 裕太
- 食育ポスターコンクール  
最優秀賞 本宿小 高原 悠斗  
MOA美術館児童作品展絵画の部  
金賞 矢作西小 中村 倅貴
- 全三河中学陸上競技選手権大会  
男子一年 砲丸投げ  
二位 矢作北中 福島 翔大  
CBC子ども絵画展  
入選 六名小 天野 虎鳳
- 明るい選挙啓発ポスターコンクール  
入選 竜美丘小 多々内佑哉  
佳作 梅園小 橋本 京佳
- 全国書画展覧会 画の部  
銀賞 梅園小 橋本 京佳  
銅賞 城北中 杉尾 駿仁
- 全国書画展覧会 書の部  
銅賞 梅園小 橋本 京佳  
銅賞 六ツ美中 伊藤 未来

